

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		はあとm+M新山口		公表日 2026年4月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3		日によって利用定員にバラつきがあるため狭く感じることも多い
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	5		見守りの職員が不足している時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4		床の絨毯は嘔吐等の際、掃除が大変。車椅子には通していないと思う。 入浴スペースが狭い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3		仕切りが少ない 1フロアーのため子どもが集中するスペースが少ない
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	4		児童を隔離したいときに隔離できる場所がない
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	3	定期的なケース会議や事例検討会がおこなわれている	業務改善に向けた話し合いは十分に取れていない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	定期的な面談等で保護者の意見を聞く機会を持っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3		通常業務をこなすことにいっぱいになり十分な話し合いがとれていない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	毎月定例研修会を行っている。また、法人外の研修にも参加する機会がある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	検討会議をもち作成している。	保護者面談時に提示していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	アセスメントシートの記入だけでなく、医師の指示書等の提示もいらしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	定期的なケース会議をおこなうことで、専門的な目線でニーズの洗い出しをしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	職員間で共有し、必要な支援を検討・実施している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	定期的な保護者と関わる時間を持つようにしている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		計画の中に「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目立てをして、より具体的な支援内容を設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	定期的な話し合いを行い決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	4		工夫しているつもりだが、多忙さに負け固定になってしまっている時も多い。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	個別活動と集団活動のどちらも計画の中に入れており、日々の支援内容に入っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	当日の児童の特性を確認し、リーダーを中心に支援内容や担当を決め、支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	月に一度、支援の振り返りをしている。	業務後はできていない 支援終了後に振り返る時間的余裕がないため、翌朝に申し送り等実施している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	日々の状況を個別に記録を残している。活動内容や児童の様子などを記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	半年に一度モニタリングを行い、計画に付いて保護者の意見を聞いている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	実施している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	実習の情報や学校での様子など、学校側と交流をしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	就学前の様子などを確認し、支援内容を検討している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	6		地域との連携はとれていない 助言や研修を受ける体制をつくる
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0		併設の保育園との交流は定期的に行っている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	主に送迎時にその日の状況や課題について伝えあっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		保護者会参加のメンバーも決まったメンバーになってきている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	3	契約時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	面談や連絡帳等により意向を確認している。相談支援員からも情報提供を受けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	個人懇談の時間に説明をし、同意のサインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	日頃からSNS等でこまめに連絡を取り合い、連絡帳や送迎時に相談があれば、改めて話をしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	事業所内、法人内共にし、速やかに対応するようにしている。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	おたよりの発行。	SNSでの情報発信
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	決められた場所に保管されている	職員向けの誕生日研修にて、年1回は意識付けを行うようにしている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	個々の状況にあわせて工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		法人として実施しているが、事業所では実施していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	定期的に訓練を行っている。 感染症対応に関しては、保護者にもプリントを配布している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的に訓練をおこなっている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	アセスメントシートに記入。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	6		医師の指示書はあるが、アレルギーの項目はない。今後は入れてもらうよう提示していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3		十分とはいえない
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		十分とはいえない
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	毎月ヒヤリハットを共有する会議を開き、検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修会有り、また、防止委員会もある。また、気になることはすぐに報告できる体制である。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	必要時、個別支援計画に明記し同意を得る	